

マンション一階の 住人のお姉さん

仕事で忙しい毎日。少し環境を変えたくて、距離の離れた街まで引っ越しをした。

現在28歳の俺。

以前の街でもおっぱいの大きい恋人と
毎晩ベッドの上で激しいセックスをし
ていたが、

恋人はそのままその街でスナックのマ

マになった。

そこで客たちと夜な夜な朝までセックスで語り明かし飲み明かすため、夜は忙しくなって自然と離れ離れになった。

別れた後に見た川の向こうの小さなドラッグストアが何故か頭に残っている……。

新しいマンションは5階建て。

4階の自宅で、たまにカフェに出向いて
仕事中心の生活をしている。

そんなある日・・・。

玄関先の廊下を歩き階段を下りて買い物へ行こうとしていると、4階の廊下から見える山の手前のコンクリートの工場がやけに

．．．．怪しく見えた。

怪訝な心持ちで俺は小走り気味に階段を下りていく．．．．．。

一階では玄関前の廊下で電気工事のトラックの男性が修理のためマンションの屋上の方を見上げていた。

いつものマンション前の庭には花が植えられている。

一階あたり 5 つほどの部屋がある俺の
マンション。

工事トラックの男性としばらく話をし
ていたが、後ろでドアが開く音がした。

・ ・ ・ ・ ・

・ ・ ・ ・ 気がつけば ・ ・ ・ ・ 。

.....隅っこの部屋のシャワールームで俺はお姉さんとシャワーに入っていた。

.....。

お姉さんは34歳。

俺よりも少し後に引っ越してきたばかり

りで現在会社の秘書の仕事をしている人だ。

真っ昼間の街中。

住む街は都心からは離れ比較的静かである。

胸元に・・・そして女子の太もも上あたりに夏前のため少し冷ために蛇口をひねったシャワーの水滴が当たる。

肌色の互いのムッチムチ太もも。お互いが男女の胸元である。

快楽にビクッ・・・・・・・・とお姉さんは敏感

に体を振るわせた。

(体験版は以上になります。ご読了ありがとうございました)